

インクルーシブの窓

令和7年12月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



特別支援教育コーディネーターリーダーの真摯な取組を紹介します！その①



11月11日（火）に県総合教育センターで第2回小中学校等特別支援教育コーディネーターリーダー研修会が行われました。

参加された65名の先生方は、今年度に力を入れて取り組んできたテーマの実践報告資料を持ち寄り、成果や今後の課題等について熱心にグループ協議を行いました。

今号から数回にわたって、先生方がリーダー力を発揮してきた「こどもまんなかの取組」を紹介します。



1年生担任として、スタートカリキュラムに取り組んだ。保育所での活動も取り入れながら、少しずつ小学校生活に慣れることができるように支援した。（小学校）

1学期に保育所訪問をし、児童についての情報交換を行った。気になる児童については、就学時健診の際に保護者面談を行い、学びの場について一緒に考えていくようにした。（小学校）

子供たち、先生方、スタディ・メイトさんに積極的に笑顔で話しかけ、気軽に話せる雰囲気づくりを心がけた。（小学校）

校内リソースを知ることが大切にした。誰がどこでどんな教材で働きかけると子供にとって有効だったかを、関わる先生方の話を聞き、整理して支援方法を提案することを心がけた。（小学校）

様々な研修へ参加することを通して、特別支援教育コーディネーターとしてできることを考え、意識を高めた。また、教職員に研修内容を伝え、特別支援教育の視点を通常の学級での支援に生かせるようにした。（小学校）

小学校の特別支援教育を担当する職員やその保護者との連携を図った。次年度入学生にかかわらず保護者の教育相談を行った、授業を公開したりした。（中学校）

ケース会議を大切に、学校・学級でできる支援や役割分担を具体的にしたり、専門機関との連携の必要性を検討したりした。（小学校）

個別の教育支援計画やユニバーサルデザインについての校内研修会を行った。また、市教育センターやカウンセリング指導員と適宜情報交換・情報共有を行った。（中学校）

学校案内リーフレットの見直しを行うとともに、訪問・定期的な教育相談による支援を行うなど、関係機関との連携に努めた。（特別支援学校）

訪問相談やニーズに応じたリーフレットの見直しと作成、紙芝居の作成を通して、障害の理解啓発に努めた。（特別支援学校）